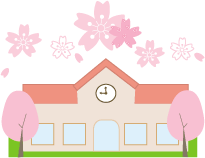
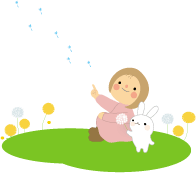
**なぎそこども園**

**入園のご案内**

****

****

**南木曽町教育委員会**

**子どもすくすく係**

**目次**

**１．認定こども園とは・・・・・・・・・・3**

**２．なぎそこども園について・・・・・・・・・・３**

**３．入園の基準・・・・・・・・・・４**

**４．園舎について・・・・・・・・・・５**

**５．保育料について・・・・・・・・・・５**

**６．幼稚園コースと保育園コースの利用時間について・・・・・・・・・・６**

**７．園での過ごし方・・・・・・・・・・７**

**８．通園バスの運行について・・・・・・・・・・８**

**9．入園までの流れ・・・・・・・・・・8～9**

**10．その他・・・・・・・・・・9**

**○参考資料「南木曽町保育所規則」・・・・・・・・・・10～11**

**１．認定こども園とは**

　認定こども園は、幼稚園が行う「幼児教育」と保育園が担う「保育」の両方の役割をあわせもち、就学前の児童に総合的な教育・保育を一体的に提供することを目的とする施設です。

　保護者が働いている、働いていないに関わらず受け入れることができます。

**２．保育所型認定こども園について**

**なぎそこども園**

保育・教育理念

子どもが、主体的に生きていくための基礎となる力を育みます

発達を促し、あそびをとおして学びの基礎力を培います

地域の中で、子育て支援の拠点として親が安心して子育てできる環境を整えます

・本園

　　　定員　1・2歳児　27名

　　　　　　3歳以上児　90名

南木曽町読書3912‐37

Tel：0264‐57‐2324

・（分園）ただち園

　　　定員　1・2歳児9名

　　南木曽町田立1354

　　Tel：0573‐75‐2158

※おやこのひろば(子育て支援事業)と併設

・（分園）あららぎ園

　　　定員　1・2歳児9名

　　南木曽町吾妻3565

　　Tel：0264‐58‐2332

※出張おやこのひろば(子育て支援事業)

◇総称を「なぎそこども園」として、本園と分園の運営・行事等の一体的な運営を図ります。

◇なぎそこども園は、町の子育て支援の拠点として子育て包括支援センター(教育委員会子どもすくすく係)や母子保健事業(役場健康しあわせ係)と連携し、子育ての相談や支援活動、親子の遊びの場の提供等を行います。

**各種相談・支援内容**　・一時預かり　・あそびの企画　・子育て相談　・療育事業(あそびの教室)

　　　　　　　　 ・ブックスタート、ブックスタートプラス　他



**3．入園の基準**

なぎそこども園に入園できるのは、次の①と②の要件をすべて満たす方となります。

①入園児が南木曽町に住民登録し、実際に南木曽町にお住まいの方

②保育の必要性に応じた教育・保育認定(※1)を受けた方

**(※1)教育・保育認定とは？**

認定こども園は教育・保育を利用する子どもについて3つの認定区分を設けています。

|  |  |
| --- | --- |
| 認定区分 | 対象者 |
| 1号認定 | 3歳児～5歳児(就学前まで)のお子さんで、  「保育を必要とする事由(※2)」に該当しない方 |
| 2号認定 | 3歳児～5歳児(就学前まで)のお子さんで、  「保育を必要とする事由(※2)」に該当する方 |
| 3号認定 | 満1歳児～2歳児のお子さんで、「保育を必要とする事由(※2)」に該当し、こども園での保育を希望される方 |

**(※2)保育を必要とする事由とは、以下の項目に該当します**

①就労(月48時間以上)

②妊娠・出産

③保護者の疾病、障がい

④同居又は長期入院等している親族の介護・看護

⑤災害復旧

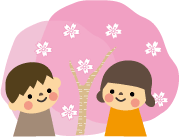
⑥求職活動(起業準備を含む)

⑦就学(職業訓練校等における職業訓練を含む)

⑧虐待やＤＶのおそれがあること

⑨育児休業取得中に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること

⑩その他、上記に類する状態として町長が認める場合

****

**令和5年度の入園対象児**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| クラス年齢 | | 生年月日 |
| 年長 | 5歳児 | 平成３０年4月2日　　～　　平成3１年4月1日生まれ |
| 年中 | 4歳児 | 平成3１年4月2日　　～　　令和　２年4月1日生まれ |
| 年少 | 3歳児 | 令和　２年4月2日　　～　　令和　３年4月1日生まれ |
| 未満児 | 2歳児 | 令和　３年4月2日　　～　　令和　４年4月1日生まれ |
| 1歳児 | 令和　４年4月2日 　～　 令和 ５年4月1日生まれ |
| 0歳児(※) | 令和　５年4月2日　　 ～ |

(※)0歳児は満1歳から入園可です。

**4．園舎について**



本園　(旧読書保育園舎を活用)

・施設：園児室5室(年長・年中・年少各1室、予備1室)

　　　　未満児2室(2歳児1室、1歳児1室)

　　　　共有　遊戯室、トイレ等

・受け入れ：3歳以上児(定員90名)、3歳未満児(定員27名)

・開所時間：月～金　７：30～18：30　　土 ７：30～17：30

　　　　　　日・祝日・年末年始は休園



ただち園　(旧田立保育園舎を活用)

・施設：未満児室、遊戯室　他

・受け入れ：3歳未満児(定員9名)

・開所時間：月～金　8：30～17：00

　　　　　　土日・祝日・年末年始は休園

◇子育て支援事業

おやこのひろば、一時的保育、子育て相談などを実施

あららぎ園　（旧蘭保育園舎を活用)

・施設：未満児室、遊戯室　他

・受け入れ：3歳未満児(定員9名)

・開所時間：月～金　8：30～17：00

　　　　　　土日・祝日・年末年始は休園

◇子育て支援事業

出張おやこのひろば、園開放などを実施



**5．保育料について**

**・幼稚園コース(1号認定)　　保育料・・・無料　　給食費・・・無料**

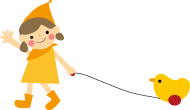
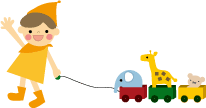
**・保育園コース(2号認定)　　保育料・・・無料　　給食費・・・無料**

**・保育園コース(3号認定)　　保育料・・・有料(10.11ページ参照)　　給食費・・・無料**

※1号・2号認定の方(3歳以上児)の保育料は無料です。3歳未満児の保育料は、各家庭の所得税額に応じて利用額が異なります。10.11ページの「南木曽町保育等利用者負担徴収規則」の利用額表を参照してください。

※利用時間外の延長保育については、別途で料金が発生します。詳しくは「**6．幼稚園コースと保育園コースの利用時間について**」を参照してください。

※給食費は町費負担のため、全コースで無料となります。

**6．幼稚園コースと保育園コースの利用時間について**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| コース名 | **幼稚園コース** | **保育園コース** | |
| 認定区分 | 1号認定 | 2号認定 | 3号認定 |
| 対象 | 3歳以上児 | 3歳以上児 | 3歳未満児 |
| 保育を必要とする事由に該当しない | 保育を必要とする事由に該当する  ⇒「就労証明書」等の提出が必要 | |
| 利用時間 | [月～金]　8：30～14：30  　　　　　　　 (～15：30)  ◇14：30～15：30は、送迎バスの利用を考慮して、延長預かり無料時間とします。  [土日・祝日は休み]  ◇土曜日は、有料の「預かり保育」として利用が可能。  午前　8：30～12：30　400円  午後13：00～17：00　400円 | [月～金]【保育標準時間】　7：30～18：30  【保育短時間】　　8：30～16：30  [土]　　【保育標準時間】　7：30～17：30  　　　【保育短時間】　　8：30～16：30  [土は希望保育、日・祝日は休み]  ◇保育標準時間とは  …父母ともに月120時間以上の就労  　保育短時間とは  　…父母と主に月48時間以上120時間未満の就労  ※あららぎ・ただち園の利用時間は[月～金]【保育短時間】のみ対応します。 | |
| **長期休暇あり**  夏季(お盆を含む2週間程度)  冬季(12/28～1/5まで)  春季(卒園式～入園式の間) | **希望保育期間あり**  夏季(お盆を含む2週間程度)  冬季(12/28、１/4、5)※12/29～1/3は休園  春季(卒園式～入園式の間)  ※お盆期間、年始、春季希望保育期間は給食なし。 | |
| その他 | 平日16:00以降の延長預かりを利用される際は有料(実費)となります。100円/時間で計算。最長18:30まで延長可能。 | 保育短時間で、17:00～18:30の延長保育を利用する際は有料(実費)となります。100円/時間で計算。 | |
| **※朝と夕方の利用時間前後30分は、集団化によりやむを得ず利用時間に間に合わない送迎時間として、全コースで猶予預かり時間を設定しています。** | | |

**７．園での過ごし方**



なぎそこども園の一日(例)

◇早朝・延長保育、土曜日保育について

・朝７：30からの早朝保育と夕方18：30までの延長保育、土曜日の希望保育は本園のみで行います。

◇希望保育について

・希望保育を利用される際は事前の申し込みが必要です。希望保育期間については「6．幼稚園コースと保育園コースの利用時間について」をご覧ください。

◇給食について

・本園、分園でそれぞれ自園調理をして給食を提供します。

・3歳以上児は昼食と午後のおやつ、３歳未満のお子さんには昼食と午前・午後のおやつを提供します。

・土曜日は給食がありません。昼食とおやつのご用意ください。

【食物アレルギー対応について】

　入園時と進級時に食物アレルギー調査を行います。食物アレルギーのあるお子さんは、必要書類を提出していただいた上で、園での対応を保護者の方と相談して決めていきます。

◇慣らし保育について

・新しく入園されるお子さんは、園生活に順番に慣れていくために、通常よりも短い時間で慣らし保育をしていきます

・4月当初入園の場合は、入園式翌日から慣らし保育を行います。

◇障がい児保育について

・状況に応じて保育士を加配して保育を行います。

**８．通園バスの運行について(3歳以上児のみ)**

通園バスを運行します。地域バス利用者は、下記の運行路線で園から一定の距離のある児童が対象となります。詳しくは、担当にご確認ください。

なお、通園バスには添乗員が同乗して子ども達を見守ります。

**通園バスの路線(予定)**

・北部与川線(北部地区～与川上の原～本園)・吾妻線(広瀬・蘭地区～妻籠地区～本園)

・田立線(田立地区～本園)

◇タクシー等の乗用車での送迎には添乗員の乗車はありません。

◇土曜日、希望保育期間は通園バスの運行がありません。



**9．入園までの流れ**

**・新年度(令和６年4月)から利用を希望する方は…**

①令和５年１１月　入園説明会および入園申込み受付開始

②申し込み必要な書類を子どもすくすく係(南木曽会館内)へ提出します。

③子どもすくすく係から認定決定通知と、保育園利用決定通知が送付されます。

④4月上旬　入園式を行います。次の日から、慣らし保育が始まります。

**・年度途中からこども園の利用を希望する方は…**

①子どもすくすく係へご相談ください(現在の状況、お子さんの年齢、入園希望時期等の確認をします)。

②南木曽会館窓口にて、入園申込書一式をお渡しします。

必要事項を記入し、子どもすくすく係へ提出してください。

③書類内容の確認を行い、後日、お子さんと一緒に園長・係担当と面談をしていただきます。

　保育園の利用についての聞き取りと、入園後の慣らし保育の日程をたてます。

④こども園にて、園長・担任の先生と面談をします。

⑤子どもすくすく係から認定決定通知と、保育利用決定通知が送付されます。

⑥入園日から慣らし保育が始まります。

**・他市町村の保育所の利用を希望する方(里帰り出産など、特別な事情がある場合のみ)は…**

①子どもすくすく係へご相談ください(相手市町村と利用について調整を行いますので、利用日までの日にちに余裕を持ってご連絡ください)。

※利用希望の施設等へ直接連絡をしないようにしてください。

②南木曽会館窓口にて、入園申込書一式をお渡しします。必要事項を記入し、子どもすくすく係へ提出してください。

　保育園の利用についての聞き取りと、入園後の慣らし保育の日程をたてます。

③お子さんと一緒に園長・係担当と面談をしていただきます。

　園の利用についての聞き取りと、入園後の慣らし保育の日程をたてます。

④後日、子どもすくすく係から認定決定通知と、保育利用決定通知が送付されます。

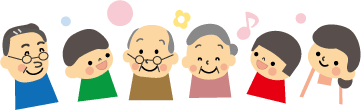
　園にて、園長・担任の先生と面談をします。

⑤入園日から慣らし保育が始まります。

**１０．その他**

保護者会について

・会長１名、副会長２名、事務局１名、会計１名、代議員７名

・会費は、園児１名当り4,000円/年です。

子育て支援等に関連して

◇園開放

・未就園児の親子が対象。お子さんの安全な遊び場、保護者の交流の場所として、園を開放しています。開放日は、園だよりや町広報でお知らせします。

○参考資料「南木曽町保育所規則」

別表（第10条関係）

(１)　保育標準時間（11時間）の利用者負担額表（保育料表）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国の利用者負担額（月額） | | | | 町の利用者負担額（月額） | | | |
| 階層区分 | 定義 | | ３歳未満児 | 階層区分 | 定義 | | ３歳未満児 |
| 第１ | 生活保護法による  被保護世帯  （単給世帯を含む） | | ０円 | 第１ | 生活保護世帯 | | ０円 |
| 第２ | 市町村民  税非課税  世　　帯 | 母子・  父子等 | ０円 | 第２ | 町民税  非課税  世　帯 | 内母子  父子等 | ０円 |
| その他 | 9,000円 | その他 | 7,200円 |
| 第３ | 所得割課税額  48,600円未満 | | 19,500円 | 第３－１ | 町民税均等割世帯 | | 13,300円 |
| 第３－２ | 所得割課税額  24,300円未満 | | 14,400円 |
| 第３－３ | 所得課税額  48,600円未満 | | 16,000円 |
| 第４ | 所得割課税額  97,000円未満 | | 30,000円 | 第４－１ | 所得割課税額  72,800円未満 | | 24,300円 |
| 第４－２ | 所得課税額  97,000円未満 | | 25,800円 |
| 第５ | 所得割課税額  169,000円未満 | | 44,500円 | 第５－１ | 所得割課税額  133,000円未満 | | 36,000円 |
| 第５－２ | 所得課税額  169,000円未満 | | 38,300円 |
| 第６ | 所得割課税額  301,000円未満 | | 61,000円 | 第６ | 所得割課税額  301,000円未満 | | 49,700円 |
| 第７ | 所得割課税額  397,000円未満 | | 80,000円 | 第７ | 所得割課税額  397,000円未満 | | 64,000円 |
| （保育単価限度） |
| 第８ | 所得割課税額  397,000円以上 | | 104,000円 | 第８ | 所得割課税額  397,000円以上 | | 82,700円 |
| （保育単価限度） |

所得割課税額…市町村民税所得割課税額

(２)　保育短時間（８時間）の利用者負担額表（保育料表）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国の利用者負担額（月額） | | | | 町の利用者負担額（月額） | | | |
| 階層区分 | 定義 | | ３歳未満児 | 階層区分 | 定義 | | ３歳未満児 |
| 第１ | 生活保護法による  被保護世帯  （単給世帯を含む） | | ０円 | 第１ | 生活保護世帯 | | ０円 |
| 第２ | 市町村民  税非課税  世　　帯 | 母子・  父子等 | ０円 | 第２ | 町民税  非課税  世　帯 | 母子・  父子等 | ０円 |
| その他 | 9,000円 | その他 | 7,000円 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国の利用者負担額（月額） | | | 町の利用者負担額（月額） | | |
| 階層区分 | 定義 | ３歳未満児 | 階層区分 | 定義 | ３歳未満児 |
| 第３ | 所得割課税額  48,600円未満 | 19,300円 | 第３－１ | 町民税均等割世帯 | 13,000円 |
| 第３－２ | 所得割課税額  24,300円未満 | 14,000円 |
| 第３－３ | 所得課税額  48,600円未満 | 15,500円 |
| 第４ | 所得割課税額  97,000円未満 | 29,600円 | 第４－１ | 所得割課税額  72,800円未満 | 23,700円 |
| 第４－２ | 所得課税額  97,000円未満 | 25,100円 |
| 第５ | 所得割課税額169,000円未満 | 43,900円 | 第５－１ | 所得割課税額  133,000円未満 | 35,200円 |
| 第５－２ | 所得課税額  169,000円未満 | 37,400円 |
| 第６ | 所得割課税額301,000円未満 | 60,100円 | 第６ | 所得割課税額  301,000円未満 | 48,700円 |
| 第７ | 所得割課税額397,000円未満 | 78,800円 | 第７ | 所得割課税額  397,000円未満 | 62,900円 |
| （保育単価限度） |
| 第８ | 所得割課税額397,000円以上 | 102,400円 | 第８ | 所得割課税額  397,000円以上 | 81,500円 |
| （保育単価限度） |

所得割課税額…市町村民税所得割課税額

(３)　教育標準時間認定の保育利用者負担額表（保育料表）

・教育認定（１号認定：３歳～５歳）子どもが特別利用保育を受ける場合等に適用する。

・教育標準時間は午前８時30分から午後２時30分までとする。

・一時預り保育は午後２時30分から午後６時30分までとし、利用料金は午後４時以降１時間につき100円とする。

・保育認定者との均衡上、上記の利用料金額の他に、該当金額と保育短時間利用者負担額表を用いて当該利用者の該当する階層の金額を８時間で除した時間単価に６時間を乗じて算定した金額との差額を実費徴収分とする。

・この表に定めるもののほか、必要な事項は町長が別に定める。